

(様式第4号)

### 第3回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	令和元年9月20日(金)午後1時30分から午後4時まで
3 会場	塩田解放会館(塩田公民館)大ホール
4 出席者	山極 一雄 会長、山部 健壽 副会長 浅川 司 委員、阿部 ふさ子 委員、荒川 玲子 委員、伊藤 準一 委員、 尾崎 孝子 委員、工藤 勇 委員、神津 和夫 委員、小林 寿美男 委員、 坂田 忠則 委員、竹内 弘子 委員、龍野 藤人 委員、早坂 みどり 委員、 林 千尋 委員、宮澤 郁夫 委員、若林 ひとみ 委員 (欠席者)安藤 健二 委員、工藤 れい子 委員、中村 佳津枝 委員
5 市側出席者	上田市 塩田地域自治センター 小林 弘明 塩田地域センター長、酒井 重雄 塩田地域振興政策幹、 池田 昌彦 庶務企画係長、岩倉 光男 主査、加藤 万紀 囑託 上田市 市民参加・協働推進課 宮澤 清彦 課長、内藤 睦人 係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1名 記者 無
8 会議概要作成年月日	令和元年9月26日

協 議 事 項 等

1 開 会(副会長)
2 あいさつ(会長)
3 意見聴取事項 (1) 地域協議会の見直し(案)について (ア) 市民参加・協働推進課より説明後、最初に質疑を行う。  (委員) 住民自治組織の設置状況はどうか、わがまち魅力アップ応援事業終了後の予算の見通しは。  (担当課) 住民自治組織は9地域に11の組織(中央、城下、川辺・泉田、神川、神科、豊殿、塩田、川西、真田、丸子、武石)が設立、中央はまだ準備会の段階である。 わがまち魅力アップ応援事業の予算は基金をもとにしており、現状は低金利のため基金が減少しており、現在具体的には示すことができない。  (委員) 上田市が実施している事業を廃止して、住民自治組織に交付する金額を増やすことは考えているのか。  (担当課) 自治会に出している補助事業のうち、住民自治組織で実施した方が自治会の負担もなくなり効率的であるものについては、協議していかないといけない(例えば防災資材購入の補助等)。内部で検討し、上田市自治会連合会と協議の上で提案したい。  (委員) できればメニュー方式でその地域で選べるようにしていただきたい。  (担当課) 上田市から住民自治組織に渡すお金については、自由に使える枠と特定の事業を実施し

たら補助する枠の二本立てを現在考えている。

(委員) 合併協定書の中に地域協議会について「将来的には、地域の実情に応じた設置単位を検討する」とあるが、背景が判れば教えてほしい。

(担当課) 将来的には状況の変化によって地域課題の解消や新たな地域課題の発生があるだろうから、地域の実情にあわせて地域協議会の設置単位を変化させる余地を残した。

(委員) 地域協議会の数を減らすだけでなく増やすことも想定されていたということか。

(担当課) そういう可能性もあった。

(イ) 地域協議会委員より意見の聴取を行う。

(委員) 塩田地域協議会が上田地域協議会に統合されると、おそらく塩田選出の委員は2人か3人かということになると予想される。真田丸子武石に比べると少ない人数なので、塩田の重要度は落ちるが、そういうことでいいかという気もする。

(委員) 地域協議会は条例で規定されているから簡単には廃止できない、というのは非常に意外な感じがする。人口が減ってきていて新しい住民自治組織を充実させるのであれば、地域協議会は発展的に解消させるべきだと考える。また、上田地域協議会の委員数は20人で塩田そのうち3名くらいということだが、真田丸子武石についても人口割ではいけないのか。委員数の扱いについて、市民の公平な意見を吸い取る場所としてはいかがなものか。

(委員) 地域協議会が上田一本にまとめられると塩田は委員の数でいうとその中の6分の1あるいは5分の1になり、他方真田丸子武石は20人と比べて不公平になる。また、地域協議会が市から求められた意見だけを述べる場所だとすると、塩田についての情報は住民自治組織の方が集まるので、条例には書いてないが、中央地域協議会のように住民自治組織ができていない地域はともかく、塩田については地域協議会を廃止して住民自治組織に諮問なり意見聴取をした方がより建設的、前向きではないか。

(担当課) 地域協議会のように上田市に提言するという機能は住民自治組織にはないので、今後は任意の団体である住民自治組織を、条例上で住民の意見を行政に反映させるための一機関として位置付けることが必要だと考えている。来年度以降上田市の自治基本条例の見直しがあるので、住民自治組織の位置付けを明確にしていきたい。将来的には地域協議会を廃止してその役割は住民自治組織に担ってもらうような提案をしたい。今回の原案は旧上田地域からの意見と真田丸子武石地域からの意見の折衷案として提案した。

(委員) 住民自治組織は上田市に提言する機能はない、という話だったが地域協議会だから意見が言えて住民自治組織だと意見が言えないというのは違和感がある。条例上の機関だから意見を聞いて任意の団体だから意見を聞かなくていい、というのはおかしいのではないか。

(担当課) 言い方が悪かったが、上田市は住民の意見を聞かないというわけではない。塩田で言えば自治会主催である行政懇談会のような場を設けて上田市に住民が意見を言う機会が、真田丸子武石地域にはない。住民自治組織が調査研究する中で、上田市に対して意見を言う機会をつくらなくてはいけないと考えている。

(委員)特に塩田については自治連がしっかりしているのだろうと思われる。地域協議会についてはなくもいい状態になるのかもしれないが、これが20年30年先はともかく現在は自治連と住民自治組織に重複している点があっても仕方がないように感じる。

(担当課)自治会や自治会連合会の存在は無視できない。ただ、20年30年先存続できるか心配している自治会も多い。上田市だけではなく住民の方にも考えてもらい、色々な意見を聞きながらこれまでの経緯や地域の実情を踏まえて、自治会や自治連と住民自治組織の在り方を模索していく必要がある。

(委員)塩田の場合は各自治連から地域協議会にも住民自治組織にも委員を出している。それが20年30年先になるとわからないが。

(担当課)人口が減るとするのは職員も減り、行政も手当できる範囲も減るということ。今までは行政が何でも手を出していたが、これからは地域の皆さんにできるところはやっただけ、その手段を模索するための組織が住民自治組織である。まだ住民自治組織ができて日が浅いので試行錯誤の段階であることは承知している。

(委員)上田市の委員をひとつ務めると色々な委員が集中することが多く、会議も度重なるため負担がかなり重い。必要性に疑問を感じる会議もあるので、見直しが必要と感じる。地域協議会についても行政の方で必要がないというのであれば、原案どおり縮小あるいは廃止してかまわない。

(委員)地域協議会は住民自治組織ができたら終わりだと思っていた。住民自治組織に機能を移行すれば地域協議会はいらない。

(委員)条例の変更や改定は難しいのか。今まで意見が出たように住民自治組織が主になっている状況で条例改正という思い切った方策を取った方がいい。

(委員)条例で規定した正式な諮問機関がどうしてもなくてはならないのか。住民自治組織が実質的に地域協議会の役割を果たし、上田市が提言や意見を聞くようにすればいいのではないか。法律で決まっているとかが条例の中に住民自治組織を位置付けなければそういうことは不可能なのか。

(担当課)上田市では自治基本条例の中に住民自治組織をつくることのできるという規定があるだけで、条例上では住民自治組織の役割については規定されていない。住民自治組織の役割についてはそれぞれの地域の皆さんで規約をつくって決めていただく必要がある。先ほど条例の話があったが、現状地域協議会は条例で定められている上田市の附属機関であるので、何もなくてなくすと困る。条例を廃止あるいは変更するには議会に提案して議決を取る必要があるが、何も代わる組織がないのに地域協議会を廃止するとなると否決される可能性が高い。現状のままだと地域協議会を廃止する理由が弱い。

(委員)上田市が重要事項を決定する場合は住民自治組織に必ず諮問しなければいけないという一文があればそれで足りる。視点を変えてそういう規定をつくるだけでいいのではないか。そうすれば住民も何かあれば上田市は我々に相談してくれる、相談先は住民自治組織というように考えてくれる。

(担当課)将来的にはそのようにしていきたいと考えている。現状は真田丸子武石については地域協議会の役割がまだ必要だと考えている。そういう中で旧上田市だけ地域協議会をなく

す、というわけにはいかない。これから住民自治組織の活動が具体化してきて、住民自治組織が地域協議会に代わる役割を担えると地域住民の皆様にも感じてもらう必要がある。現状では真田丸子武石で意見を聞くと、提案した原案で精いっぱいだと、そこは御理解いただきたい。地域協議会に代わる組織については住民自治組織や自治会連合会を含めて考えていきたい。

(委員) 合併協定書に基づくということだが、もう合併して10年以上経過しているので真田丸子武石の状況は変わらないとは考えづらいが、真田丸子武石を重要視するというのはちょっと腑に落ちない。ある程度見直すべきものは見直していかなければならない。

(担当課) 真田丸子武石の地域協議会内ではそうかもしれないが、住民の意見を聞くと地域協議会の存続を望む声が多いので、それを無視することはできないので上田市としてはこういう原案になった。

(委員) 今回の原案は過渡的な措置ということだと理解した。今回の原案は塩田については負担の軽減を考えて上田で一本化されるが、塩田と中央とか西部とかでは土地柄が違う。諮問されたとき塩田と街場は違うということで、意見が統一されないことが当然出てくる。そういう場合地域協議会としての結論は違うが塩田の意見として尊重するというようになるのかもしれない。

(委員) 合併して10年以上たっても真田丸子武石についてはこういう形になっているが、上田市は一本化して進める意思があるのか。上田市全体で地域協議会を一本化して、その中でまとまらないものは下部組織、塩田地域部会や丸子地域部会といったところに降ろしてというようにやればいい。今のままでは上田市が何のために合併したかわからない。

(委員) 今の案は現在より複雑になるが。

(委員) 地区がどのようなことを考えているかわからないと前に進まない、地区にこだわっている場合ではない。地域協議会は上田市一本化でいかにいけない。真田丸子武石を優先して地域協議会を残すというような時代ではない。10年昔のことをやっている場合ではない。

(委員) 具体的な進め方はどのようになるか。

(委員) 地区ごとでどうしてもこの問題はもっと掘り下げて話をするとかというようにして、地域全体の市として一本化の方向へ引っ張らなければならない。今私の住んでいるところも過疎の地域になりつつあるが、上田市全体で分かってもらえないといけない。その地区だけで話をしても井の中の蛙になってしまうから、やはり全体の、街場の進んでいるところとか、そういう意見を聞く中で前へ進んでいく方向が望ましい。

(委員) そうなると基本的には諮問したいとか意見を聞きたいとかいう時は地域協議会に諮問して、地域的な問題があればそれぞれの下部組織で議論してそれを地域協議会が吸い上げて答申するというやりかたで、下部組織は何かあった時に開くということになる。

(委員) 今回の原案は住民自治組織に移行する経過措置ということだが、旧上田市の6つ(中央、西部、城南、豊殿、塩田、川西)の地域協議会をひとつの地域協議会にするのは難しいのではないかと。旧上田市を3つくらいにわけるようにしてそれぞれの特色を生かしてバランスのとれた話し合いのできる単位にするべき。

(委員) 地域協議会が発展的に解消する、住民自治組織に移行されていく方向で動いていくのはいいと思う。その経過措置としてなら旧上田市で地域協議会を一本化するというのはかまわない。地域協議会に諮問や提言で意見をまとめるとき各地域代表ということで各委員が話をすればいいわけで、地域の事情が違うというのが城下、神川、神科、川辺・泉田、塩田、川西は上田市中心部から見れば周辺地域になり、同じような悩みを持っているのではないかと予想する。そうすると対等に話もでき、意見もあうのではないかと予想する。そういった中で意見具申や諮問に対する答申にしても附帯意見を付けることができる。そうすると縮小して20名の委員で地域協議会を運営するのも可能であると思うので、今回の原案に賛成する。

(委員) 折衷案で新しい上田地域協議会に選ばれる塩田地区出身の委員は住民自治組織の役員に出してもらうことも考えられる。事前にどういうことを諮問されるかわかるので、それについてあらかじめ住民自治組織の意見を聞いておき、その意見を持って行って上田地域協議会で議論をする方法も考えられる。そうすると塩田の特色も生かせるし、住民自治組織を重視することもでき、負担の軽減にもつながる。

(委員) 地域協議会は必要ない。もし先ほどの話のようなやり方で行うのなら地域協議会という名前はやめるべき。色々説明があったが原案は今と全く変わらないということは、もうこの地域協議会自体は成り立っていない。住民自治組織があって地域協議会があって自治会がある。この3つも組織は必要なくて予定どおり地域協議会は住民自治組織の中に入れるべき。開催回数が減少傾向、調査研究も行っていない地域もある。ということはその地域協議会は必要ないから会議をしないのであって、いらないと思って会議や調査研究をしないのであって、長い目で見ると地域協議会という組織は住民自治組織に入れてしまった方がいい。上田市が諮問する、意見を聞く相手は地域協議会ではなく住民自治組織で構わない。

#### 4 その他

- ・地域おこし協力隊 加藤万紀 囑託より活動報告
- ・事務局より第3回わがまち魅力アップ事業の募集結果について
- ・事務局より当面の塩田地域協議会の開会予定日について

#### 5 閉会(副会長)